



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和5年10月31日 第7号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : kanai-es@sado.ed.jp

藤井聡太さん「八冠制覇」おめでとうございます

校長 藤井 衛

将棋の藤井聡太さんがついに八冠制覇（将棋界のタイトルをすべてとること）を達成しました。おめでとうございます。今まで誰も成しとげることができなかったすごい記録です。私にとっては息子のような年齢ですが、同じ藤井姓として、ずっと応援している人物だったので大変うれしい出来事でした。聡太さんのすごさが分かるのは、実は詰将棋（王手を連続し、最終的に王が逃げられないように捕まえること）の力です。聡太さんの対局を見ていると、中盤まで不利だと思っ^{ちゅうばん}ていても、ある瞬間から逆転している^{しゅんかん}ということがよくあります。これは「詰将棋を読む能力」の差です。誰よりも早く、自分が勝つ手順を読むことができるのです。それも、想像を超越した数の手順の中からです。



すごい能力をもっている聡太さんですが、小学校と中学校しか卒業していません。高校には行っていましたが、途中でやめています。理由は「将棋に専念したいから」「出席日数が足りなかったから」ということになっています。聡太さんは勉強が苦手だったのでしょうか？いいえ、そうではありません。聡太さんの発言で印象的な言葉があります。

「なぜ5分で分かることを45分もかけて教えるのか。授業がつまらない。」

この言葉を聞いて、私は衝撃を受けました。聡太さんは、学校の勉強がつまらないと感じていたわけです。私たち教師は一斉指導を基本として授業を行ってきました。35人のクラスなら、35人全員が理解できるように45分を使って、ていねいに指導してきました。そのような授業は、聡太さんにとっては苦痛でしかなかったのです。

我が国は、経済成長期に、作業をすばやく処理できる人間を育てるため、あたかも工場のような教室で「一斉授業」をやるのが最も効率的だと考えられていました。ところが時代が進み、最近では「個別最適な学び」や「個に応じた指導」が大切だと言われるようになりました。社会の変化が激しい世の中です。聡太さんのように才能ある子どもたちが能力を伸ばせるよう、今後は教育の仕方も大きく変化していくのかもしれない。私たち教師も、予測不能な社会の変化についていけるように努力しなければいけないのです。